



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 日 本 触 媒
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 田 和 宏
(コード番号 4114 東証プライム市場)
問 合 せ 先 コーポレート・コミュニケーション部長 巽 健晴
(TEL 03-3506-7605)

2027 年 3 月期業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、2026 年 5 月 13 日に公表いたしました「2026 年 3 月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」におきまして、未定としておりました 2027 年 3 月期の連結業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

2027 年 3 月期 第 2 四半期(中間期)連結業績予想値(2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上収益	営業利益	税引前中間利益	親会社所有者に帰属する中間利益	基本的 1 株当たり中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026 年 5 月 13 日時点)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	235,000	12,500	15,000	10,500	71.06
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前中間期実績値 (2026 年 3 月期中間期)	200,197	9,011	10,795	7,612	50.43

2027 年 3 月期 通期連結業績予想値(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社所有者に帰属する当期利益	基本的 1 株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2026 年 5 月 13 日時点)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	455,000	21,000	27,500	20,500	139.71
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績値 (2026 年 3 月期)	399,898	17,530	21,493	16,764	112.15

2. 連結業績予想開示の理由

2027年3月期の連結業績予想につきましては、中東情勢の緊迫化が当社グループへ与える影響を合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定した連結業績予想を公表いたします。なお、米国・イランでは6月の停戦合意後も戦闘が続いておりますが、原材料の供給状況やコストへの影響については段階的に落ち着く想定としております。

通期の連結業績に関して、売上収益は、販売数量は減少するものの、原料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、前期に比べて551億2百万円増収（13.8％）の4,550億円（上期2,350億円）を見込んでおります。

利益面につきましては、製造固定費や販売費及び一般管理費が増加するものの、原料価格の上昇に伴う在庫評価差額の影響や、ソリューションズ製品の生産・販売数量の増加及びスプレッドの拡大等により、営業利益は前期に比べて34億7千万円増益（19.8％）の210億円（上期125億円）を見込んでおります。

税引前利益は、為替差損益の悪化があるものの、営業利益や持分法による投資利益が増加することにより、前期に比べて60億7百万円増益（27.9％）の275億円（上期150億円）を、親会社の所有者に帰属する当期利益は37億3千6百万円増益（22.3％）の205億円（上期105億円）を見込んでおります。

通期業績予想の為替レートは158円/USD、181円/EUR、国産ナフサ価格は88,000円/KLとしております。

3. 配当予想について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2026年5月13日時点)	—	—	—
今回予想	70.00	70.00	140.00
当期実績	—	—	
(ご参考)前期実績値 (2026年3月期)	50.00	63.00	113.00

4. 配当予想の理由

当社は、2024年5月13日公表の「株主還元方針の変更について」でお示した株主還元方針に基づき、2028年3月期までは配当性向100%またはDOE(株主資本配当率)2.0%のいずれか大きい金額を目安に配当を実施することとしております。

2027年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、上記の配当基本方針および今回算定した業績予想を総合的に勘案し、年間配当予想を前期と比べ27円増配の1株当たり年間140円（中間70円、期末70円）といたします。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上